

社会福祉学科

介護福祉 専攻

科目名: 介護の基本Ⅲ				担当教員 氏名: 毛利 亘		
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考
2	2年次	前期	専門科目	講義	必修	介護福祉士国家試験受験資格(必修)
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:		介護福祉士および施設管理者としての経験を有した教員が、専門職として基本的な考え方や姿勢の根拠となる尊厳の保持の観点から、ニーズや特性に応じたサービスについて学ぶ。				
授業科目の学習教育目標の概要:						キーワード
本科目は介護の基本Ⅰ・Ⅱと同様に、介護領域の礎となる科目である。自立支援に繋げる観点から要介護者の特性に応じたフォーマルサービス、インフォーマルサービスを理解し、尊厳を重視した個別ケアを考える科目である。						介護福祉士 尊厳 その人らしさ 生活ニーズ
授業における学修の到達目標						
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		2. 3. 4. 5. 6. 7. 8	
A 知識・理解力			介護福祉士の現状を理解することができる			
C 論理的思考力			介護実践における連携の必要性を思考することができる			
G 倫理観			介護福祉士倫理綱領から介護福祉士の倫理について考察することができる			
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする						
テスト: 50 %	レポート: 20 %	発表: %	実技試験: %	その他: 30 %		
特記事項: 本科目は、アクティブラーニングを基本とする為、講義中に求められる介護福祉士像、介護福祉士倫理綱領等に関して、学生間で議論する。その他の30%は、授業態度、各内容のグループワーク等の参加姿勢を評価します。						
アクティブラーニング要素: 課題解決型学習 ディスカッション、ディベート <u>グループワーク</u> プレゼンテーション 実習、フィールドワーク						
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 別に定めた日時に試験を実施する。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 試験やレポートの結果を本人に伝えます。						
授 業 計 画				準備学習(予習・復習等)		
				学習内容	学習に必要な時間(分)	
①介護福祉士を必要とする人の理解				テキスト1章1節を事前に読み、事後は資料を整理する。	【予習】30分 【復習】30分	
②私たちの生活の理解				テキスト1章1節を事前に読み、事後は資料を整理する。	【予習】30分 【復習】30分	
③介護福祉を必要とする人たちの暮らし				テキスト1章2節を読んでおく。会の活動を調べレポート作成。	【予習】30分 【復習】30分	
④「その人らしさ」と「生活ニーズ」の理解				テキスト1章3節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
⑤その人らしさとは何か				配布資料の確認	【予習】30分 【復習】30分	
⑥その人らしさの背景				配布資料の確認	【予習】30分 【復習】30分	
⑦生活ニーズの理解				配布資料の確認	【予習】30分 【復習】30分	
⑧中間評価と前半のまとめの授業				これまでのテキストや配布資料の確認	【予習】30分 【復習】30分	
⑨生活のしづらさの理解とその支援				配布資料の確認	【予習】30分 【復習】30分	
⑩生活を支えるフォーマルサービス(社会的サービス)とは				テキスト2章2節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
⑪高齢者のためのフォーマルサービス				テキスト2章2節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
⑫障害者のためのフォーマルサービス				テキスト2章3節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
⑬生活を支えるインフォーマルサービス -費用負担				テキスト3章2節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
⑭生活を支えるインフォーマルサービス -種類と提供者				テキスト3章2節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
⑮地域連携、まとめと最終評価				テキスト3章3節を読んでおく。	【予習】30分 【復習】30分	
使用テキスト: 最新・介護福祉士養成講座4「介護の基本Ⅱ」 ISBN978-4-8058-5764-9 中央法規出版				その他参考文献など:		
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 日頃からテレビや新聞等で介護や介護福祉士に関するニュースや記事に関心をもって、授業に参加してください。						